

# 仲西(女)、神森(男)栄冠

## ☆ハンドボール

(ANA ARENA浦添)  
▽男子

浦	神	▽準決勝
森	森	29-23 浦
33	22	松
鳥	西	神
		森
		32
		1814
		1615
		31 浦
		添

▽女子

## 「守って速攻」徹底 仲西



仲西―浦西 堅い守備を見せる仲西の(左から)大城佑月、島原三千真、大城詩(24日)、ANA ARENA浦添(又吉康秀撮影)

後半開始から16分。仲西が初めて逆転した。その後は追い付かれても追い抜かせず、24―23で浦西の猛追をはねのけた。

前半は相手セーブに阻まれ点を得られず、守備でも連係がうまくいかずに失点し9―12で折り返した。しかし、この状況も一想定

内)だった。

「ミスしてもシュートをしよ。それがチャンスにつながる」「ディフェンスをしつかりやろう。後半15分で追い付けばいい」。ハーフタイムで戦術を徹底的に確認した仲村幸一監督の期待通り、選手たちは修正に成功する。

後半、守備の連係がうまく動くようになったことから、速攻を仕掛けていく。決勝でチーム最多11点を挙げた大城佑月とともに攻撃の主軸を担い、自らも4点を挙げた大城詩主将は「最後まで諦めず戦おう、絶対勝とう」と選手たちは一つになっっていたという。

仲村監督は「苦しい戦いの中でも自ら考え、修正していった」とチームが掲げた「守って速攻」で逆転優勝をつかんだ選手たちを誇らしげに語った。(安里周悟)

仲	西	26	18	東	風	平
浦	西	22	15	神	森	
仲	西	24	9	1112	23	浦
西		15				

### 相手エース封じ 終始優勢を維持 男子神森

○相手の190センチ近いエースをどう封じるか。神森男子は、はじめられても何度も当たってエースの攻勢を崩すことに成功。走り込みを重視する練習で培ってきた機動力で、エースにつ

なぐる周りの動きの機先を制して得点を抑え、終始優勢を維持し続けることで優勝を勝ち取った。「身長は小さいけれど、相手がスピードに乗ってくる前に、フェイントを掛けてくる前に、仕掛けてつぶす」戦術を徹底できたという山内昌悟監督。守備からの速攻に課題を残すものの、新垣瑛太郎主将は体格で勝る相手に勝利を収めた経験を生かし、全国に行きたい」と力を込めた。(安里周悟)



神森―浦添 前半、先制点を決めてベンチにアピールする神森の新垣瑛太郎

## 東風平×名護でき

### 県中学野球選手権

第74回県中学校野球選手権大会(主催・県中学校体育)

▽2回戦
与那原
0000003002
0000003003
3x
65